

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2008年10～12月期)

第51回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成20年7～9月との比較）
 - （2）前年同期比（平成19年10～12月との比較）
 - （3）来期見通し（平成21年1～3月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	177社
回答率	35.4%
(業種別)	
製造業	58社
建設業	31社
卸売業	17社
小売業	33社
サービス業	38社
合計	177社

(2) 実施時期

平成20年10～12月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

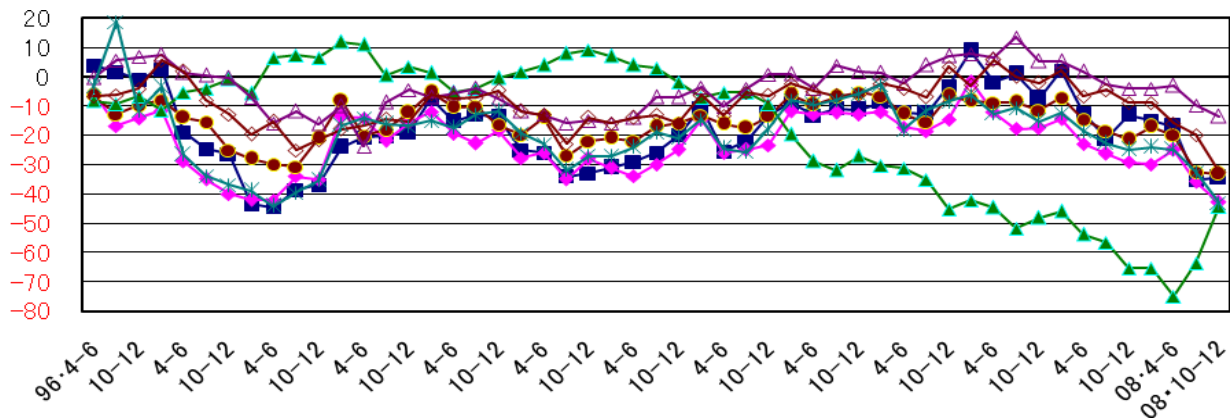
2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

- 売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
- 採算D I = (好転 ") - (悪化 ")
- 資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")
- 仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")
- 雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")
- 設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")
- 業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	06/4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6	7-9	10-12
■売上	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4	-35.1	-34.5
◆採算	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5	-35.8	-42.9
●資金繰り	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0	-32.5	-33.3
▲仕入価格	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8	-63.6	-44.3
△雇用状況	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2	-9.9	-13.5
◇設備投資	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5	-19.9	-32.6
*業況	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2	-32.5	-43.1

3. 概況

「受注減少・消費低迷で業況は依然低迷」

(1) 今期の特徴

今期のD I 値は、前回調査より前年同期比で「採算」、「資金繰り」、「雇用状況」、「設備投資」、「業況」が悪化となり、前期比では「雇用状況」、「設備投資」、「業況」の項目で悪化となった。「仕入価格」については、マイナス幅が改善してきているものの、急激な経済悪化に伴う受注減少、消費マインドの低迷による買い控えで、全業種において依然として厳しい経営環境となっている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、「売上」、「採算」「資金繰り」、「雇用状況」、「設備投資」、「業況」で「仕入価格」以外の項目で悪化となっている。

業種別では、製造業では取引先からの大幅な受注額の減少、建設業では年度末の需要期であるものの受注競争の激化と工事量の減少、卸・小売業では消費の低迷による買い控えが懸念され、サービス業では観光関連でプロスポーツキャンプ等による入込客数の増加による業況回復に期待が持たれるものの消費マインドの低迷が不安視される。

(3) 経営上の問題点

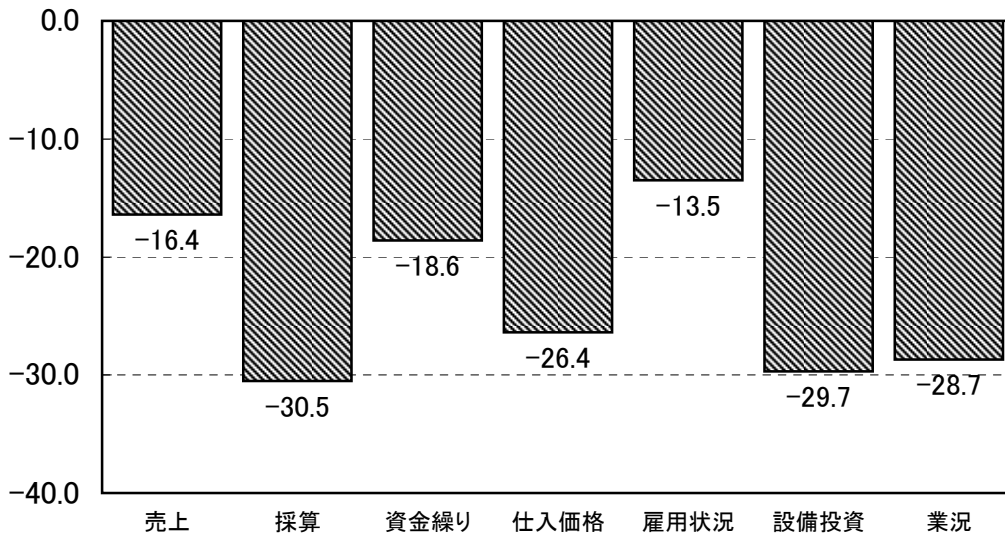
今回の上位順位は、前回2位と3位が入れ替わり、1位に「需要の停滞」、2位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」、3位に「原材料（仕入単価）価格の上昇」と続いた。

(4) 今後の対応策

今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「新規市場を開拓したい」、2位に「その他の合理化を実施したい」となり、3位に「人件費を削減したい」と続いた。

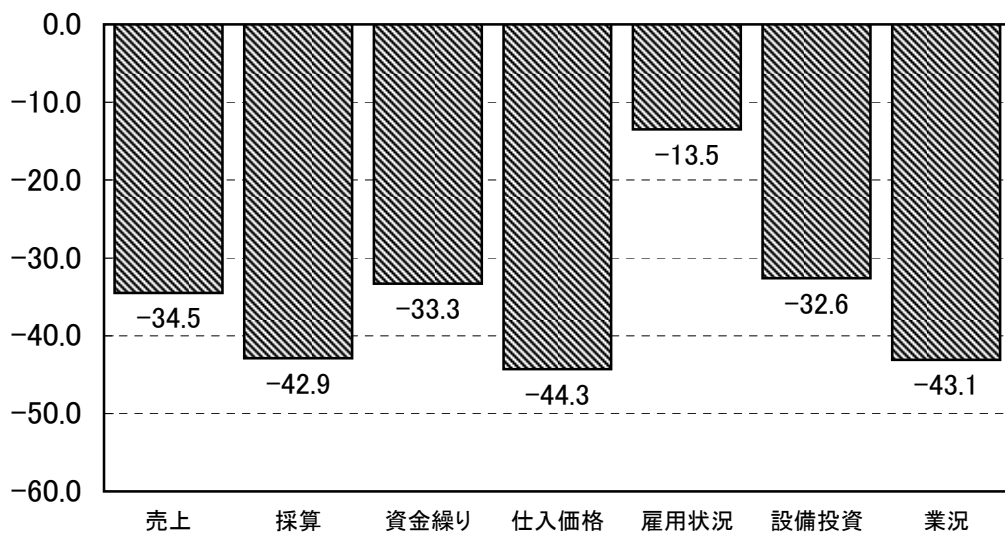
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成20年7～9月比)



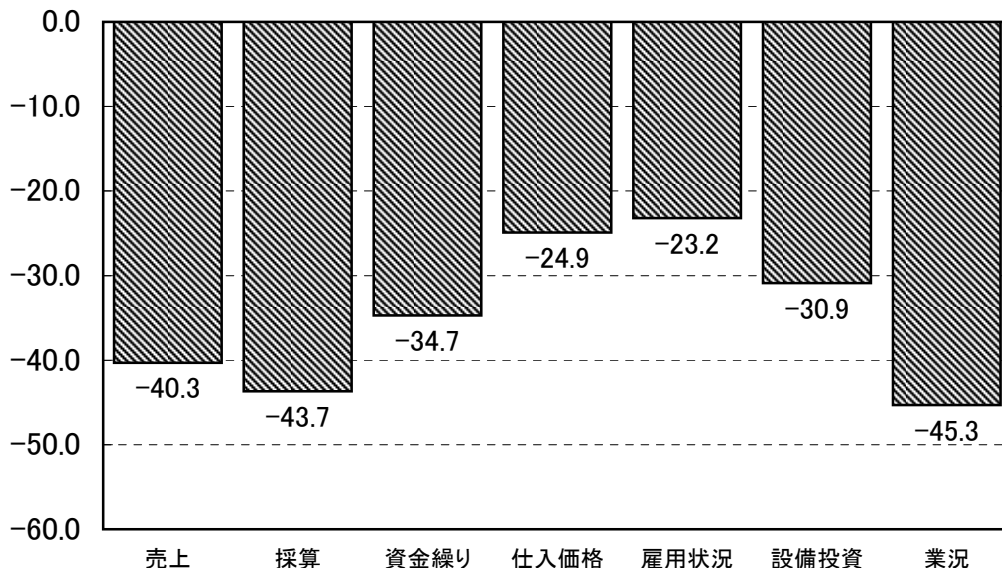
前期比DIは、前回調査と比較して、ほぼ横ばいで推移した。仕入価格の高騰は落ち着きが見られるものの10月からの急激な経済悪化に伴う受注減少、更には消費低迷による買い控え等で業況は依然として厳しい状況となっている。

前年同期比(平成19年10～12月比)



前年同期比DIは、採算・業況DIのマイナス幅が拡大した。特に製造業、小売業で悪化しており製造業では、取引先の生産調整、小売業では高額商品の買い控えなどの声もあり経営環境の悪化が顕著に現れている。

来期見通し(平成21年1～3月見通し)

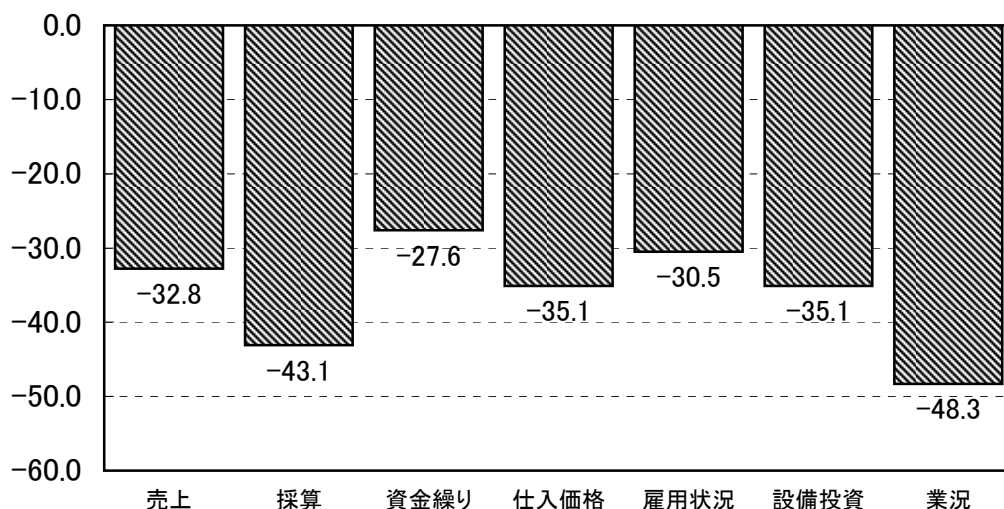


来期見通しDIは、売上・採算・業況共に大幅な悪化となった。年度末需要期であるものの受注件数の減少、競争激化による採算悪化、更には消費の冷え込みによる買い控え等が懸念され、先行きは厳しい見通しとなっている。

5. 業種別の景気動向

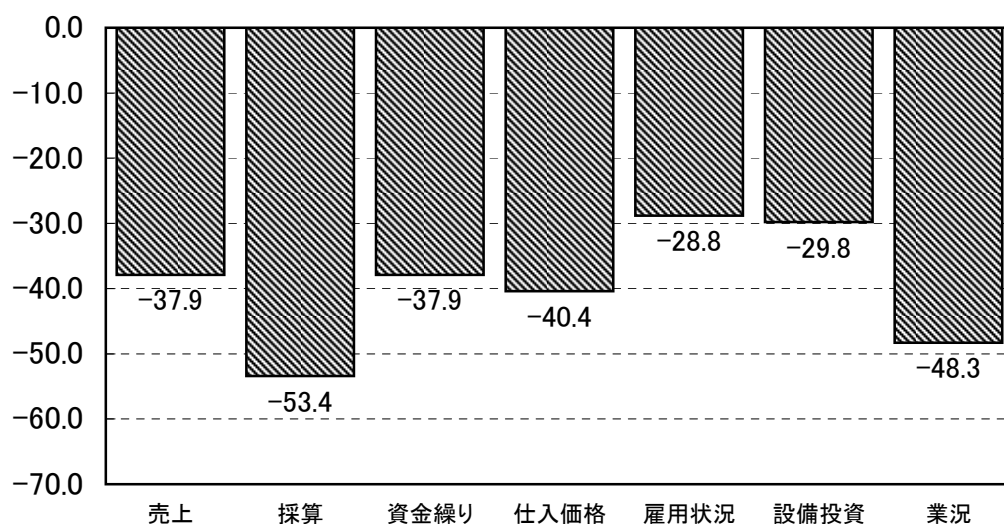
(1) 製造業

前期比(平成20年7～9月比)



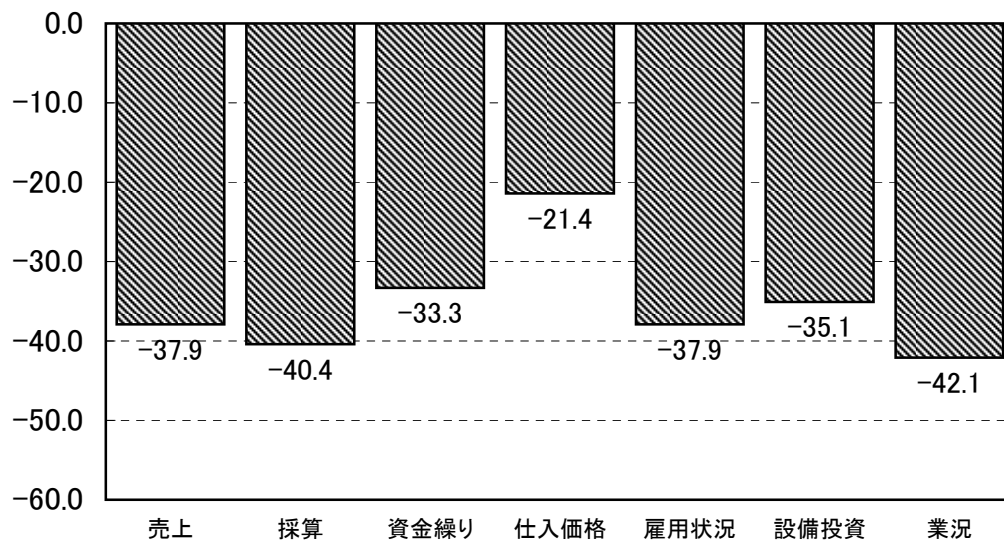
前期比DIは、前回調査と比較し、大幅な業況悪化となった。世界的な経済悪化による取引先からの大幅な受注減と急激な円高による逆ザヤで輸出が減少し売上・採算ともに厳しい状況となっている。

前年同期比(平成19年10～12月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、仕入単価は、やや改善されたものの、採算・業況は大幅な悪化となった。機械関連で取引先の生産調整、印刷関連では、取引先からの広告等の受注が減少しており厳しい経営環境となっている。

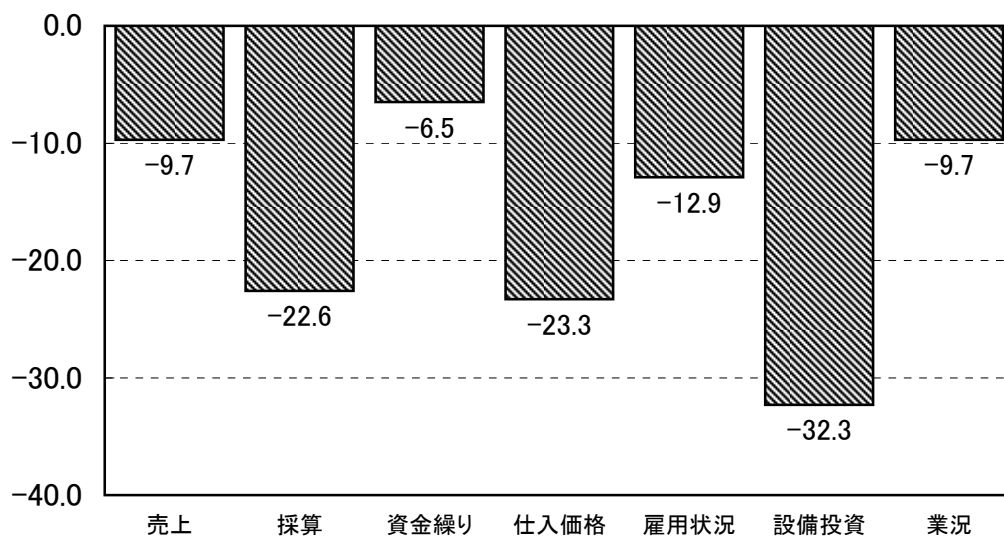
来期見通し(平成21年1～3月見通し)



来期見通しDIは、売上・採算・業況ともに大幅なマイナスとなった。設備投資の延期・中止、取引先からの受注減少と好転の材料が見当たらず先行きは全く見えない状況となっている。

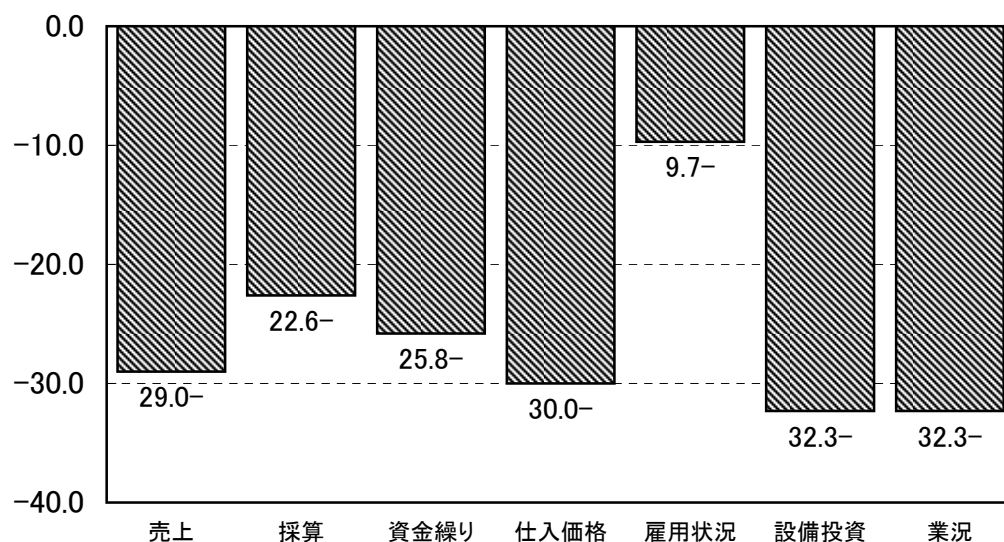
(2) 建設業

前期比(平成20年7～9月比)



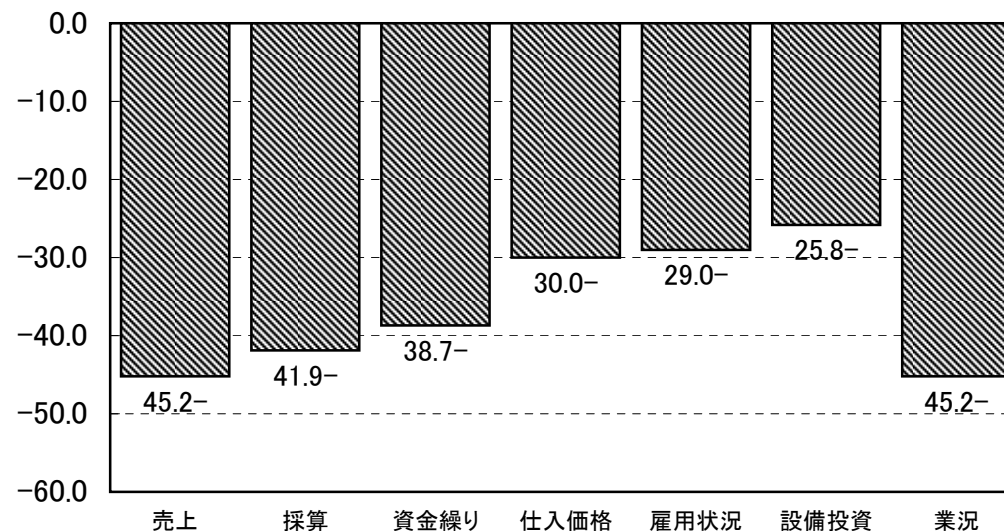
前期比DIは、前回調査と比較し、売上・業況ともに悪化となった。一部では公共工事の受注に加え、仕入価格の低下により業況改善が見られるものの、設備投資等の減少により受注状況は依然として厳しい状況である。

前年同期比(平成19年10～12月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともに悪化となっている。公共工事の減少、受注競争の激化は依然続いており、業界を取り巻く経営環境は依然厳しい状況となっている。

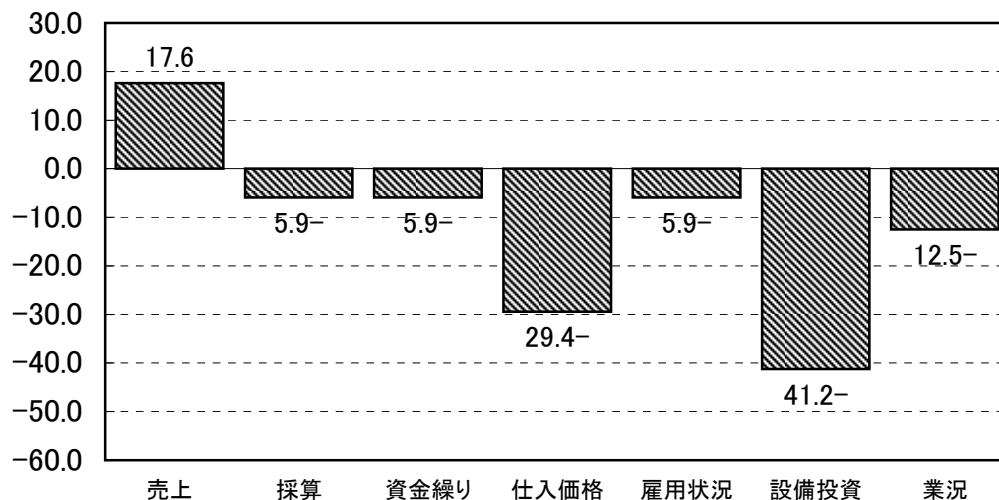
来期見通し(平成21年1～3月見通し)



来期見通しは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともにマイナス幅が拡大した。公共工事の需要期ではあるものの、工事量の減少、受注競争の激化等のマイナス要因が懸念される。

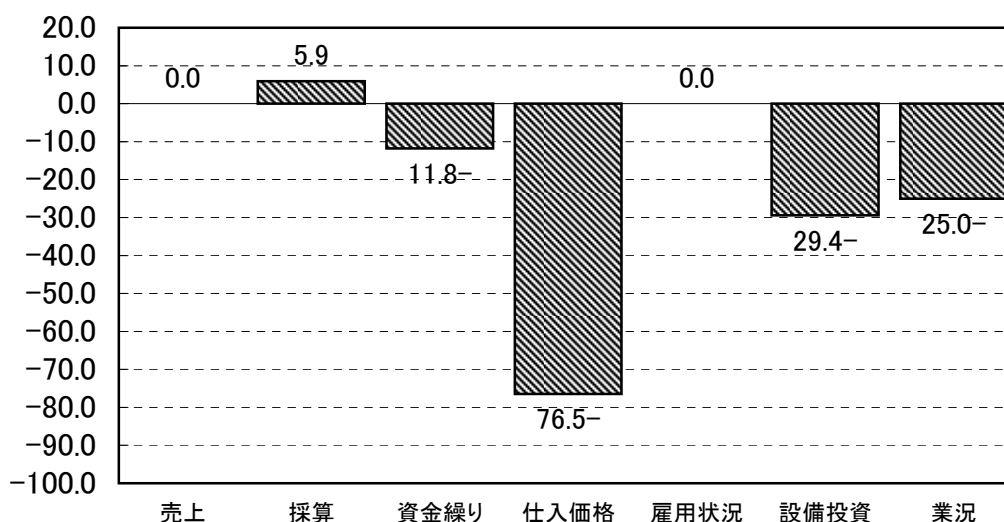
(3) 卸売業

前期比(平成20年7～9月比)



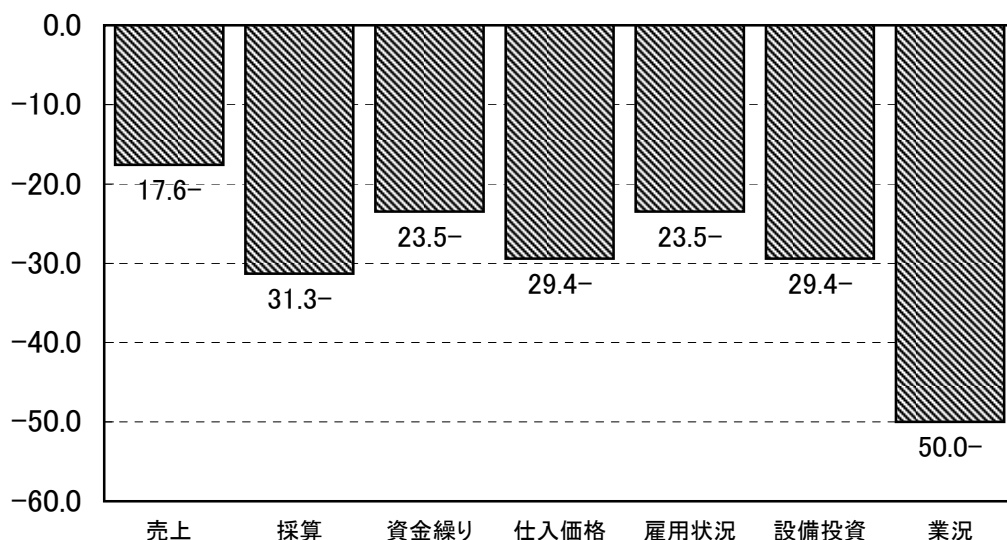
前期比DIは、前回調査と比較して大幅に改善した。「建設業不振による影響」(鉄鋼卸)、「消費低迷で取扱数量減」(青果物卸)などの声もあり厳しい経営環境であるものの、年末需要の季節的な要因に加えて、一部では、「自社の経費見直し」(食品卸)等の声も聞かれ改善と

前年同期比(平成19年10～12月比)



前年同期比DIは、マイナス幅は改善されたものの、仕入価格はマイナス幅が拡大した。更に需要の低迷もあり、業況は依然厳しく楽観視は出来ない状況となっている。

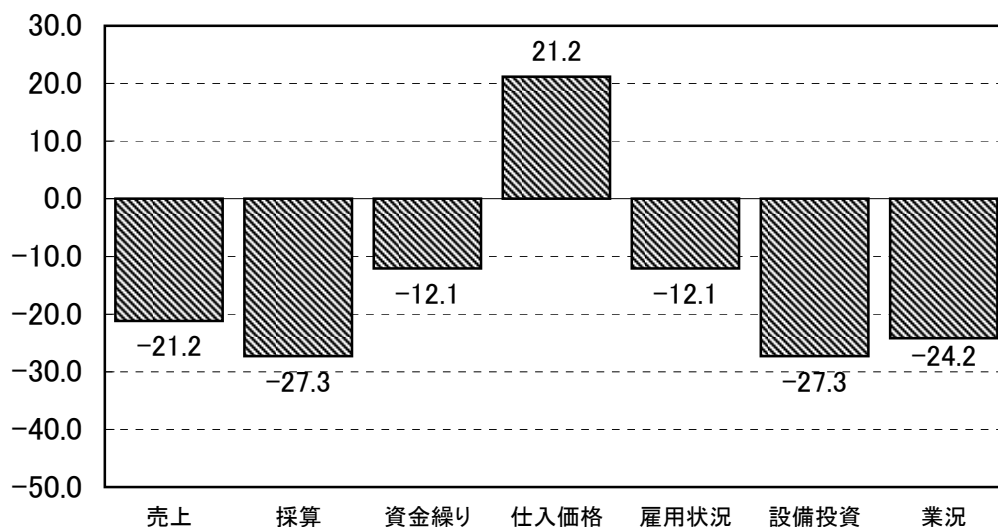
来期見通し(平成21年1～3月見通し)



来期見通しDIは、前回と比較して、売上はマイナス幅を縮小したものの、ほぼ横ばいとなっている。年度末の需要期ではあるものの消費の落ち込みによる需要低迷が懸念され、見通しは依然厳しい状況である。

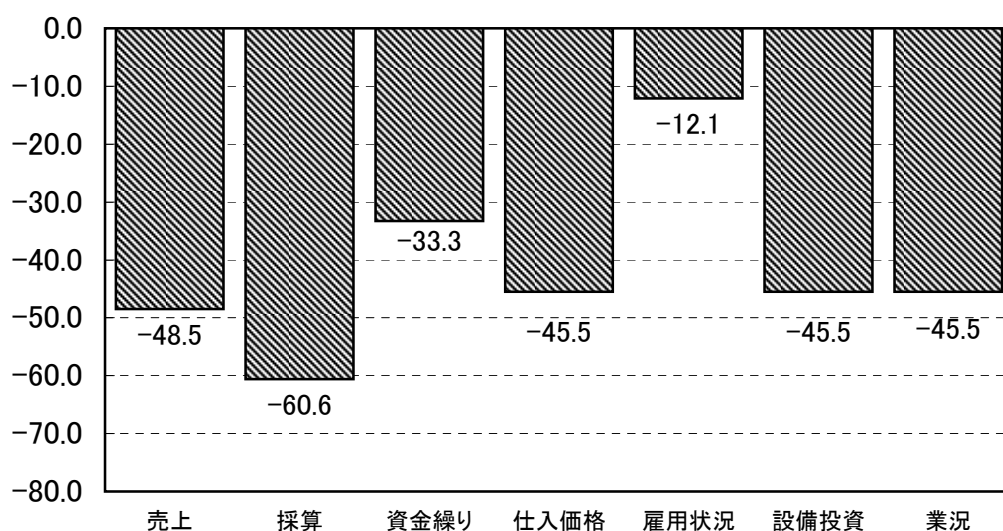
(4) 小売業

前期比(平成20年7～9月比)



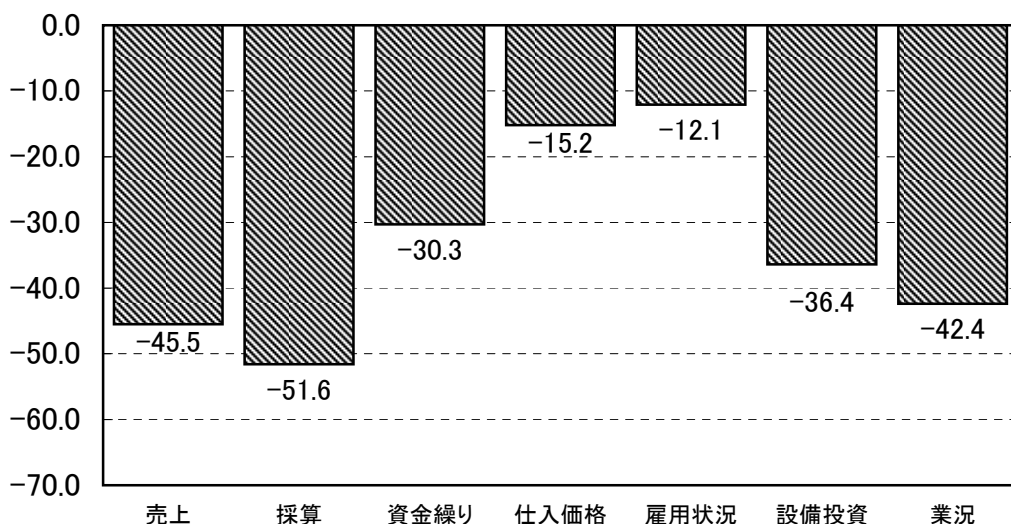
前期比DIIは、前回調査と比較して、ほぼ横ばいで推移した。仕入価格は改善が見られるものの、急激な経済悪化に伴う消費の低迷で売上・利益の確保が難しく、業況は厳しい状況となっている。

前年同期比(平成19年10～12月比)



前年同期比DIIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともに大幅な悪化となった。「高額商品の需要が激減している」(酒類)など、消費低迷による購買意欲の減退で厳しい経営環境となっている。

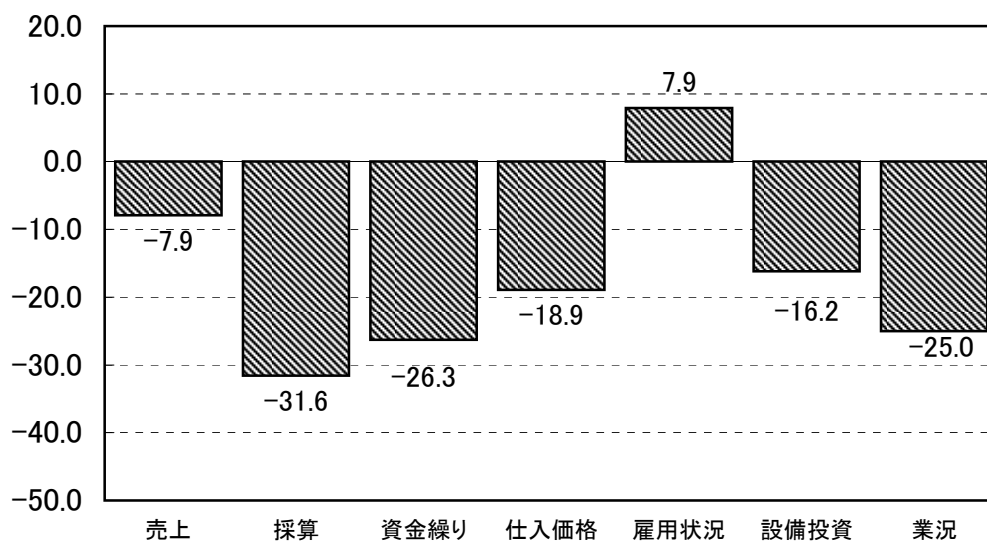
来期見通し(平成21年1～3月見通し)



来期見通しDIIは、前回調査と比較して、仕入価格を除き大幅な悪化となっている。消費マインドの低迷による需要の低迷と市場の縮小など、好転する要因はなく、先行きは更に厳しい見通しとなっている。

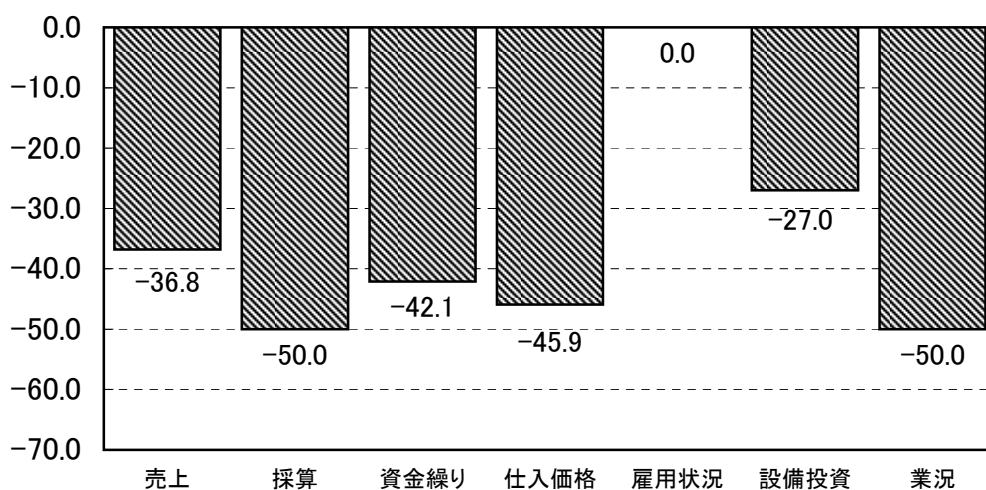
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成20年7～9月比)



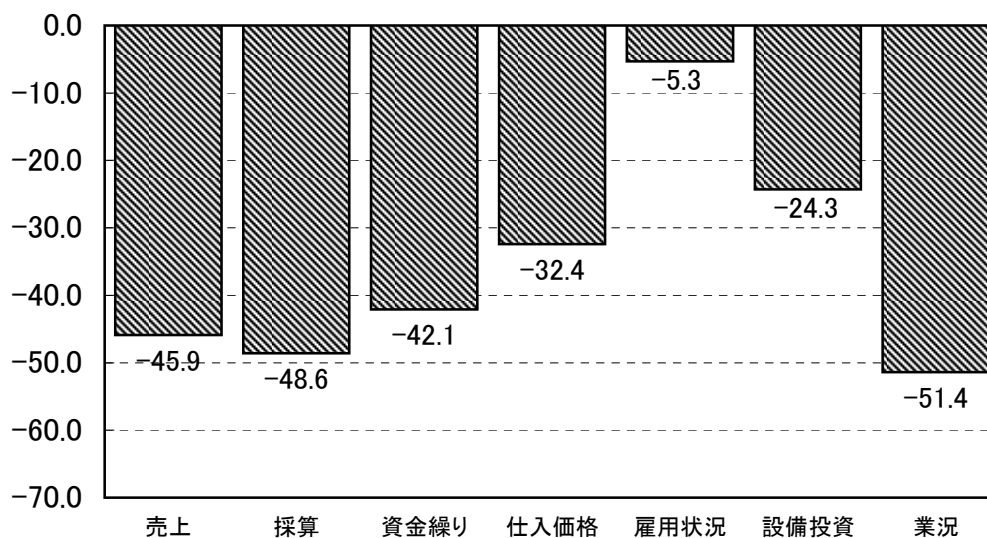
前期比DIは、前回調査と比較して、マイナス幅が改善された。「燃料費の締付けが軽くなった」(運送)、「灯油の単価が下がった」(温泉浴場)など好転の声はあるものの、「広告費の削減」(広告代理)など需要は悪化しており、厳しい経営状況は否めない。

前年同期比(平成19年10～12月比)



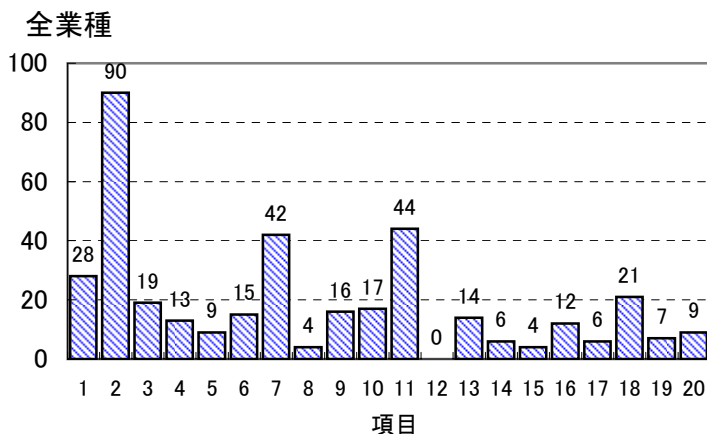
前年同期比DIは、前回調査と比較して、ほぼ横ばいとなっている。「客単価の減少」(貸室食堂売店)、「イベント等の経費削減」(広告代理)、「物量が減少」(運送)など需要低迷による業況悪化が浮き彫りになっている。

来期見通し(平成21年1～3月見通し)

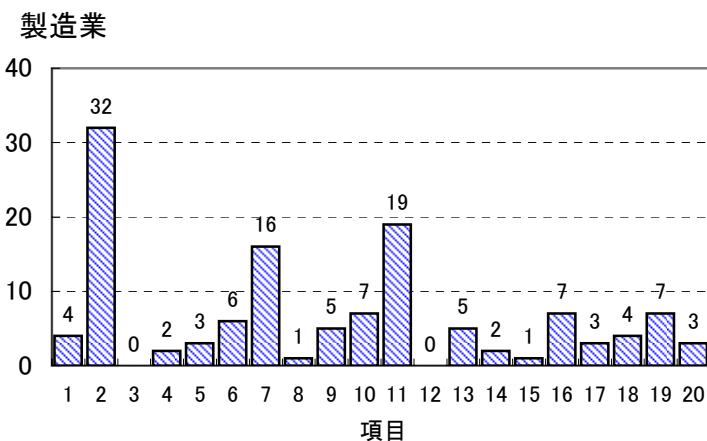


来期見通しDIは、前回と比較して、売上・採算・業況ともに大幅な悪化となっている。「プロ野球のキャンプ等で宿泊客の増が見込まれる」(宿泊)との声はあるものの、消費マインドの低迷が懸念され先行きは厳しい見通しである。

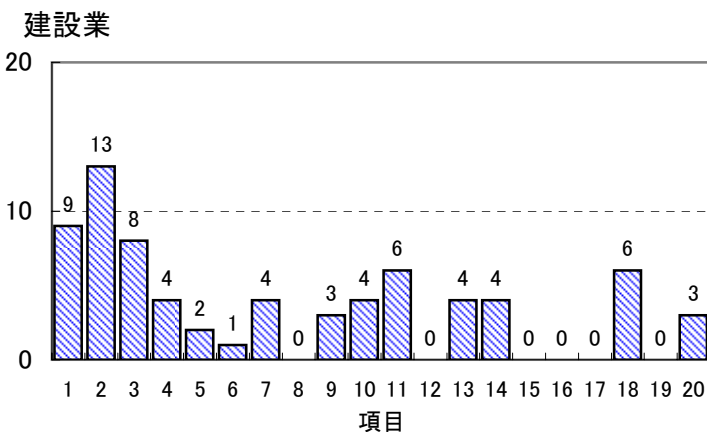
6. 経営上の問題点



- 順位
- 1位 需要の停滞
 - 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
 - 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
 - 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
 - 5位 取引条件の悪化



- 順位
- 1位 需要の停滞
 - 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
 - 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
 - 4位 人件費の増加
 - 5位 事業資金の借入難

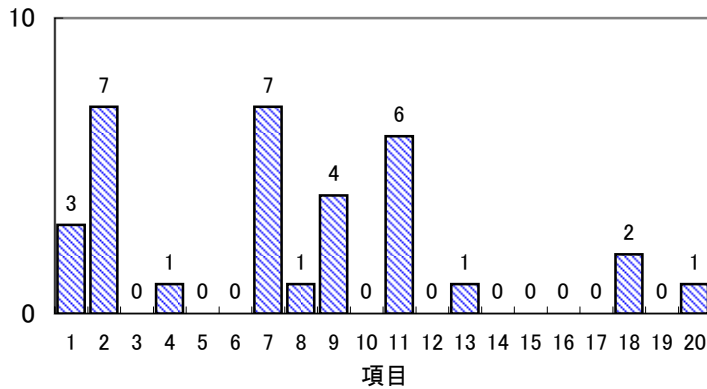


- 順位
- 1位 需要の停滞
 - 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
 - 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
 - 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
 - 5位 取引条件の悪化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

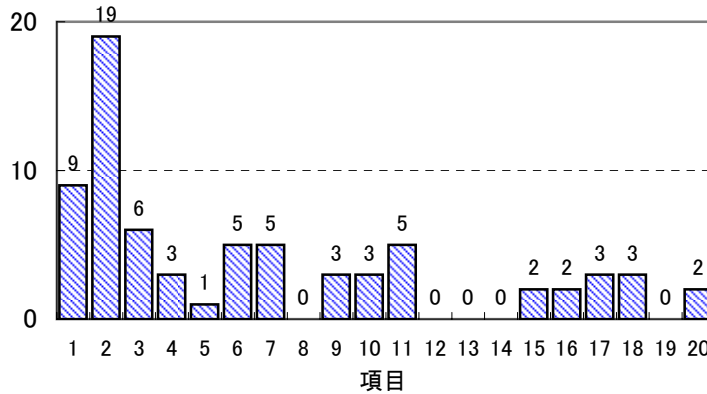
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

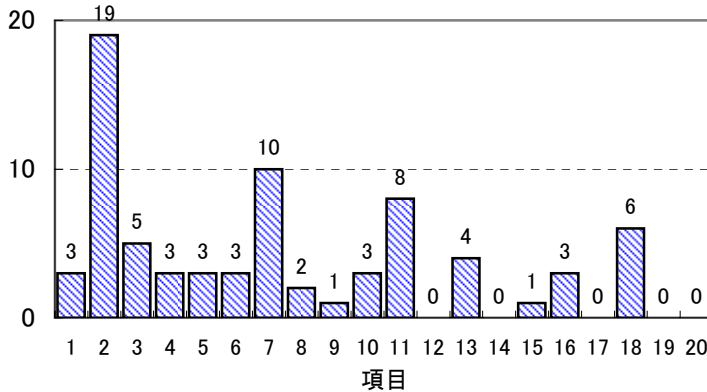
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

サービス業



順位

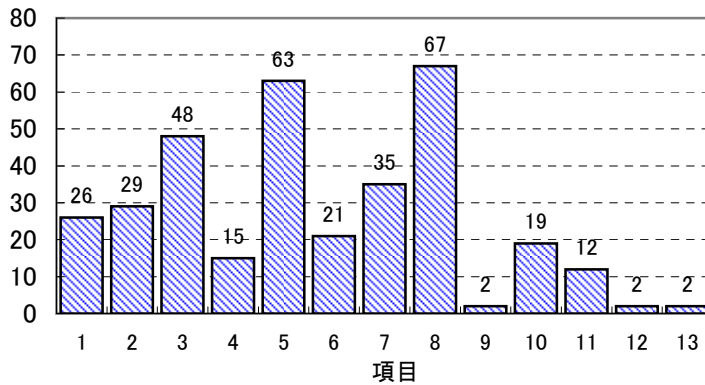
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

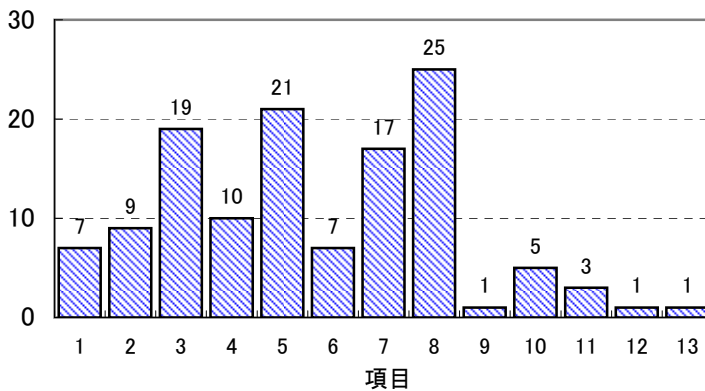
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

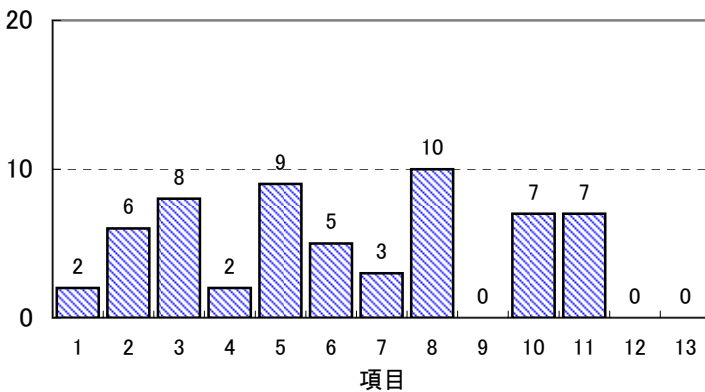
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 生産調整を行わないたい

建設業



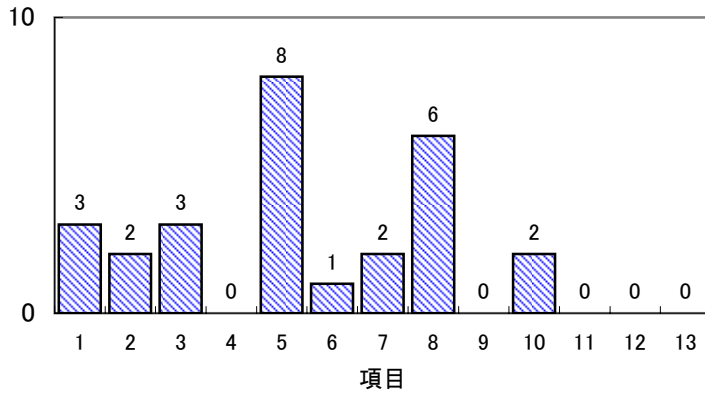
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 下請け発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

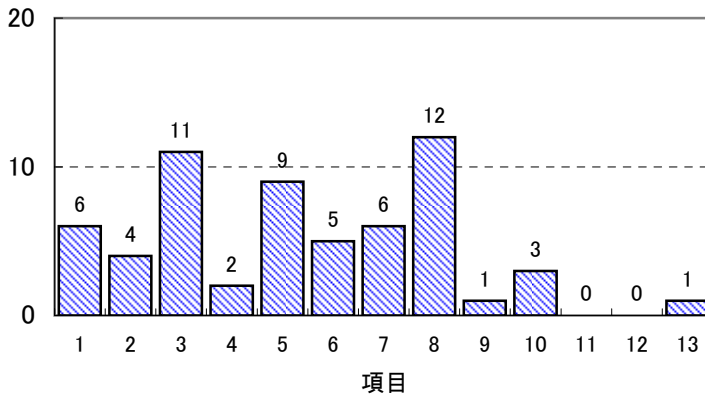
卸売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 雇用調整を行いたい

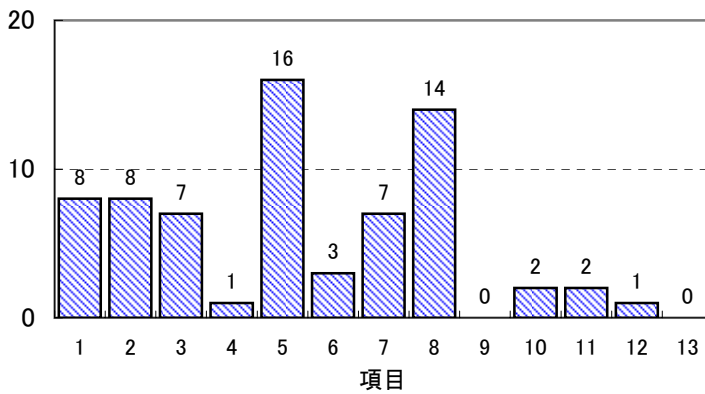
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

サービス業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	アルミ製品製造業	都城	行政に期待したらだめが実感です。97
製造業	鋼材加工販売	都城	緊急経済対策として公共工事の前倒し発注および物件増を切に願います。3024
製造業	機械器具製造業	都城	昨今の日本経済は特に厳しい状況にありますが、私個人の意見としては、この問題は国が解決する問題だと思います。雇用問題が現在大きな話題となっておりますが、国がその対策を何か考えているかと言えばまったく見えません。消費税の引き上げなど国民の負担を増やすことではなく、まずは国民の「生活を第一に」考えることが大事だと思います。3040
製造業	金属製品製造業	宮崎	保証協会特別保証適用要件の条件緩和(売上・利益減少などの条件の撤廃あるいは緩和)を実施してほしい。
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	経済対策、公共投資等の早期実行
製造業	IC製造業	宮崎	米国の不況から世界不況となり、製造業界は存続の危機となっています。公務員を削減、給与の大幅カットなどを行い、民間企業と同じ痛みを受け、税負担軽減や国や県からの融資等抜本的な施策が必要ではないでしょうか。
製造業	機械部品、金属加工	宮崎	雇用対策、景気回復に期待したいがこのままでは、失業・倒産が増えると思います。県も早急に実体を把握され雇用対策に力を入れて下さい。
製造業	梳毛紡績	宮崎	雇用継続助成金等の拡充借入金の利息助成
製造業	印刷業	宮崎	せめて行政の仕事については適正価格で受注できるようにしてもらいたい。行政・企業互いに首をしめているようなものだ。
製造業	輸送機器製造業	宮崎	効果的な内需拡大策を実施していただきたい。
製造業	タイヤコード製造1	日向	①土木建築公共工事による災害対策(学校耐震化、水災対策等の優先順位づけ、バラマキはダメ)②延岡南道路無料化(事故、経済損失大きい)③細島港利便性向上・13mバース建設、関東(関西)便フェリー復活4048
製造業	リレー製造業	日南	上昇する気配が無くなかなか見えてこない中資金的に苦しくなっていると思われる。助成等の対策があれば広く周知して欲しい。6022
製造業	自動車専用部品製造	日南	労働局の雇用調整助成金の雇用を守るための対策拡大して欲しい。それも緊急に願います。雇用は守れない、休業している分だけでも国の助成が欲しい。今は労務費を運転資金が一番のネックです。よろしく願います。6013
製造業	焼酎製造販売	串間	原油も落ち着いてきたし、麦価(原料)も下がり、甲乙混和酒に対抗できる市場になっているので麦製焼酎の拡販に努め業績の回復を目指す8017
建設業	建築工事業	都城	県内から県外へ流出している人材を地元に戻すための施策を考えて欲しい48
建設業	電気設備工事	宮崎	景気浮揚対策として公共工事の発注促進化をお願いします。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	宮崎の不況は建設業に影響する所が多い。現知事の政策では期待薄で希望が持てない。
建設業	家具製造 内装工事	宮崎	県:建設業者の事を考えてほしい。国:民意をくみ取ってほしい。
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	主たる産業がない地方での建設業は雇用(生活)の場となっていた。災害時のボランティアであるとか、限界集落を守って来たと自負しているが、今の状況が継続するようであれば雇用調整をするしか無くなる。新市場へ行きたくても厳しい。農業では法律で土地の取得や農業法人の設立が難しいし、山林についても補助金等は森林組会を通じたものが多い。新分野に進出する具体的な計画がある企業には国が計画を検査したうえで直接補助金を出してはどうだろうか？
建設業	建築設計監理	宮崎	建築設計業務の発注方式を根本的に見直していただくようお願いいたします。設計事務所のノウハウ(事務所の組織、技術力、実務経験等)の調査をし、格付けによって価格競争のない方法で発注していただきたい。

建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	我々、中小企業にはどうしようもない次元になってきている。国策としての景気対策を願います。
建設業	電気工事	宮崎	官庁工事、工事価格の最低ラインの引き上げを望む3045
建設業	電気工事業	高鍋	電子入札をやめてほしい。もっと地方の中小企業の立場を考えてほしい。5008
建設業	土木工事一式	串間	入札制度改革の最低制限価格を90%くらいにして戴きたい8008
卸売業	建築・木工・金物	都城	企業経営はよくも悪くも経営者次第とおもっています99%今後もがんばって生きたいとおもっています33
卸売業	青果卸売業	宮崎	今までの日本の経済は外需(輸出)で成り立っていたことを改めて痛感しました。購入意欲をそそる商品開発に努力するとともに内需を拡大する対策を真剣に実行してほしい。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	公共工事の前倒し発注等で景気浮揚対策を望む3064
卸売業	焼酎製造業	小林	減税(酒税・消費税)7022
小売業	時計貴金属小売業	宮崎	急激な需要の停滞、売上減に追い込まれ、ここ2年間の銀行返済が厳しい状況にあります。銀行への返済条件の変更、借入、借り替えができるように資金繰り対策が一番重要と考えます。
小売業	弁当製造販売	宮崎	2011年の消費税10%⇒最悪な状況になると思います。橘通商店街が19時から閉まるので街に活気がないと思います。
小売業	呉服・宝石・寝具	宮崎	政府、国が打出した景気対策は諸外国に比べて、規模、スピードとも遅すぎる。思い切った手段を迅速に行なうことを切に願う。
小売業	自動車販売整備	宮崎	年式の古い自動車に対し買い替え促進を図るよう県が台当り10万円程度の支援金を出して欲しい。景気対策とともに環境対策に役立つ(福島県が実施しようとして計画)
小売業	各種時計宝飾その他	宮崎	銀行は地域活性化とは離れた動きをしている。その上、信用保証協会に国や県は補助金を注入して安い保証料で小企業の資金面の拡大をしてもらいたい。信用保証協会のチェックは県なのか金融庁なのか運営について明らかにしてほしい。
小売業	ショッピングセンター	宮崎	中心市街地区域の見直し(範囲の見直し)個人消費の改善物販以外の有力企業(県外)の誘致
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	30分無料駐車券の発行は良いことですが、一日ゆっくり時間を気にせず駐車できる場所があると良い(市営駐車場)。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	景気対策として雇用の促進を行なって頂きたい。約300万人の雇用を電力、石油に替わるクリーンなエネルギー産業。食料の自給率アップと安全な食を作る。高齢者と介護、保育施設の充実、各要因の確保と労働条件の改善、育児と教育の充実、健全なマスメディア化、リサイクル化。
小売業	総合小売業	宮崎	大幅減税などによる景気対策、経済対策を望む。国内需要を活性化し国民生活の安定化をすすめて頂きたい。
小売業	総合食料品スーパー	日向	もっとあらゆる業種・業態で地元企業を優先するべきです。地元企業の衰退が町の衰退になっています。大手企業は町づくりよりも自分の企業の利益優先です。4002
小売業	文具、雑貨	日南	日南は民間の需要が少なく官公庁に依存している部分が大きいので節度ある購入方法をお願いしたい。6056
小売業	自動車販売整備	日南	特になし6046
小売業	衣料関係小売	小林	行政改革を進めることによる(予算枠の拡大)。民需喚起を推進して欲しい7012
サービス業	運送業	都城	原油値上がりの抑制をお願いしたい高速道路通行料値下げをお願いしたい軽油税の値下げをお願いしたい
サービス業	ホテル業	都城	ホテル・旅館等の設備産業に対する長期低金利融資制度をお願いします。65
サービス業	総合不動産業	宮崎	今のような政治ではだめだ。基本的なポリシーがない。

サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	民間企業が不況に苦勞しているときには、行政もその痛みを分かち合う。そうすれば良い景気対策が生まれてくる。
サービス業	美容婚礼業	宮崎	今後、私どもが提供している商品、サービスのニーズがどのように変化するか全く解らない。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	県外のお客様がスポーツ関係以外の観光でお金を落とすようにしてもらいたい。価格競争があまりにも激しいので調整できないでしょうか。
サービス業	飲食業	宮崎	宮崎市橘通かいわいは車の流れだけで、とにかく人が歩いていない。中心市街地は中心という言葉がむなしい位「かんこ鳥」が鳴いている。なんとしても市民が集まり「かっ歩」する街でありたい。空港利用者の減少、宿泊者の減少の歯止めこそ具体的に取り組む施策だと思えます。
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	宮崎は景気が良くならない内に都市部で不景気が来たので宮崎の落込みはさほど大きいものではないと考える。金融(銀行)の貸し渋りあるいは貸付原資の不足等が始まれば当然倒産が増え、都市部並みの不景気型にはまり込む恐れはある。金融界の指導を徹底してもらいたい。
サービス業	クリーニング業	高鍋	国・県・市には全力で景気対策に力を入れてほしい。人口の集中する中央都市部でも消費低迷が言われる中、延岡のような地方都市ではなおさらである。地方のことがわかる県・市にはニーズに合った対策を講じてほしい。また、報道によるネガティブなニュースもマイナス要因なので、もっとプラスになるようなニュースを期待する。3058
サービス業	レストラン	高鍋	世界的不況の中で地方が影響を受けるのは、これからでしょう。一年間は会は辛いでしょう。政府の力がどこまでやってくれるか疑問です。自力で頑張るしかないのでは。5014
サービス業	ホテル	日南	特になし6024
サービス業	温泉浴場	串間	国の機関をもっと縮小して地方自治体にもっと自由に使えるお金を配布し、地方をもっと元気にさせてほしい出先機関もそうだが国会議員の数も半分でないか